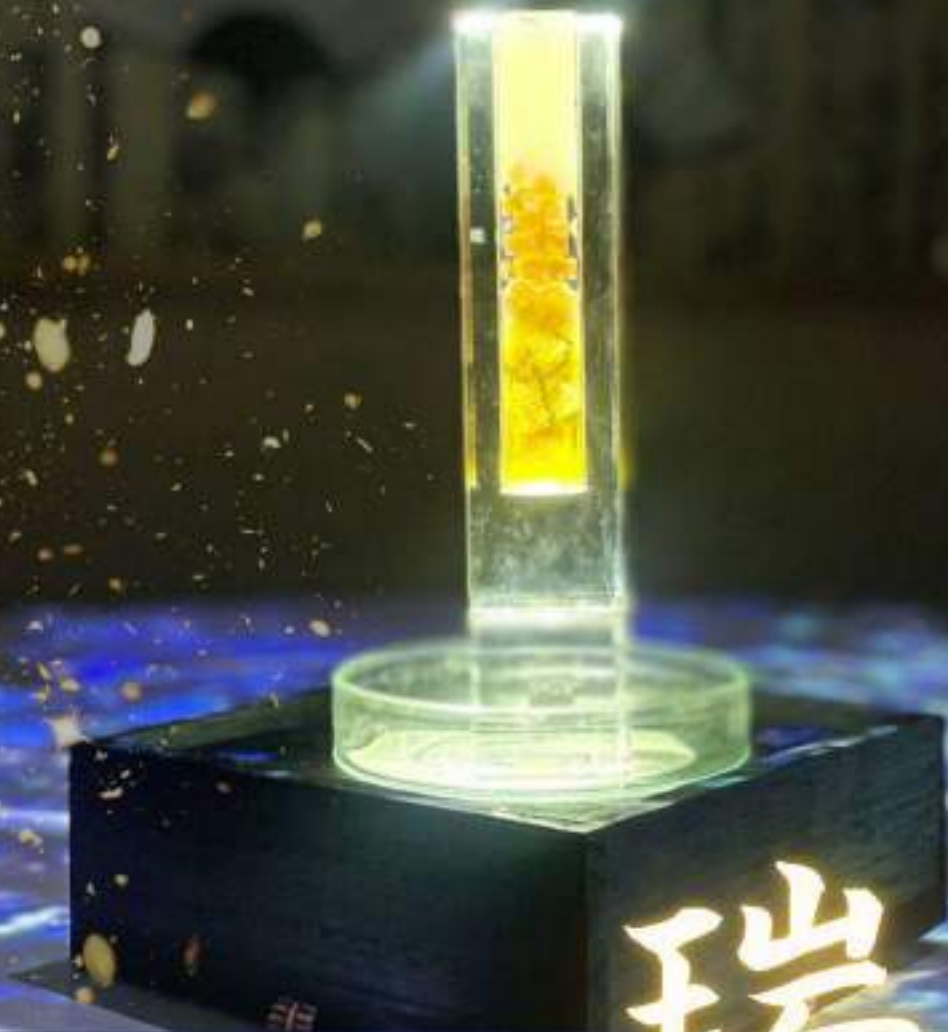


新感覚

体験型
コース料理



瑞亭

縁結び懐石



ご予約はこちら

☎ 045-298-8530

または090-1733-3507

繋がらないときは折り返しのお電話をいたしますので
留守番電話をお願いいたします。

固定電話は、上記の電話番号に転送されます。

営業時間 | ランチ 12:00~ テイナ 18:00~

SNS情報

公式HP



WUZITEI_TAMAPLaza

X IHTwitter



おもてなし

一九七九年八月三〇日生まれ。母の田舎である、島根県で生まれ、中負けた頃、家庭科の授業の時に同じクラスの友達に「そ、瑞亭」を専門学校を卒業し、私はある思いを込めました。

実は、島の旅館が経営していた白分の生まれの地、思い出さなかった時に親戚が経営していた何かの助けることには出ないか、と考へ、島根の「出雲大社」の「縁結び」をコンセプトとした「懐石料理を営もう」と決意しました。

島根に人が集まらない一番の要因は、「島根に貢献したい」という強い気持ちで、お作りをしてお店作りをしていました。食料全てを島根のものを持って取り扱うのは正直、非現実的でした。そこで「宗教的な美しい」つまり「縁結び」出雲大社の思考 でした。



もちろん、一番はお客様のために。ただ、その一番の空間を、私、そして母の故郷である島根で演出する。それが私の答えでした。私はよくあるようなカウンターでなにか演技をしたり、ショーをするのは苦手です。なので、ものづくりの好きな私なりに、自分でかーら設計、制作した3Dプリンターとプロジェクトションマッピングでお客様に空間を楽しんで頂きたいと願っています。

龍蛇伝説に謎られた

神々からのおもてなし



価格はすべて税込みとなっております。

- Lv.99 宇宙に耀く星々の秘宝 33,000円
- Lv.77 天空からのプレゼント 27,000円
- Lv.55 自然界に広がる大地恵み 22,000円
- ペアリングドリンク※ +3000円

※お食事にお合うお飲み物を、数種類こちらでご用意した中から選んでいただく形となります。
珍しいお酒を多く取り扱っておりますので、
食事に合わせてお酒も楽しみたいという方にとてもおすすめです。
合計で5〜6種類のお酒をお楽しみいただけます。
ドリンクは、単品のご用意もございます。詳しくは店舗までお問い合わせくださいませ。

ストーリーのあらすじ

これは、
むかしむかしの
お話です。
大國主という
心優しい
神様がいました。
大國主は、
先祖のスサノオから
出雲國を譲り受け、
治める事になりましたが
そこには大きな試練が
待っていたのです。
スサノオから、
國を治めるための
『打出の小槌』
を見つけ出すように
言われ、様々な銀河を
旅する大國主。
そこには、
八つの世界との出会いが
待っていたよーしたっ。

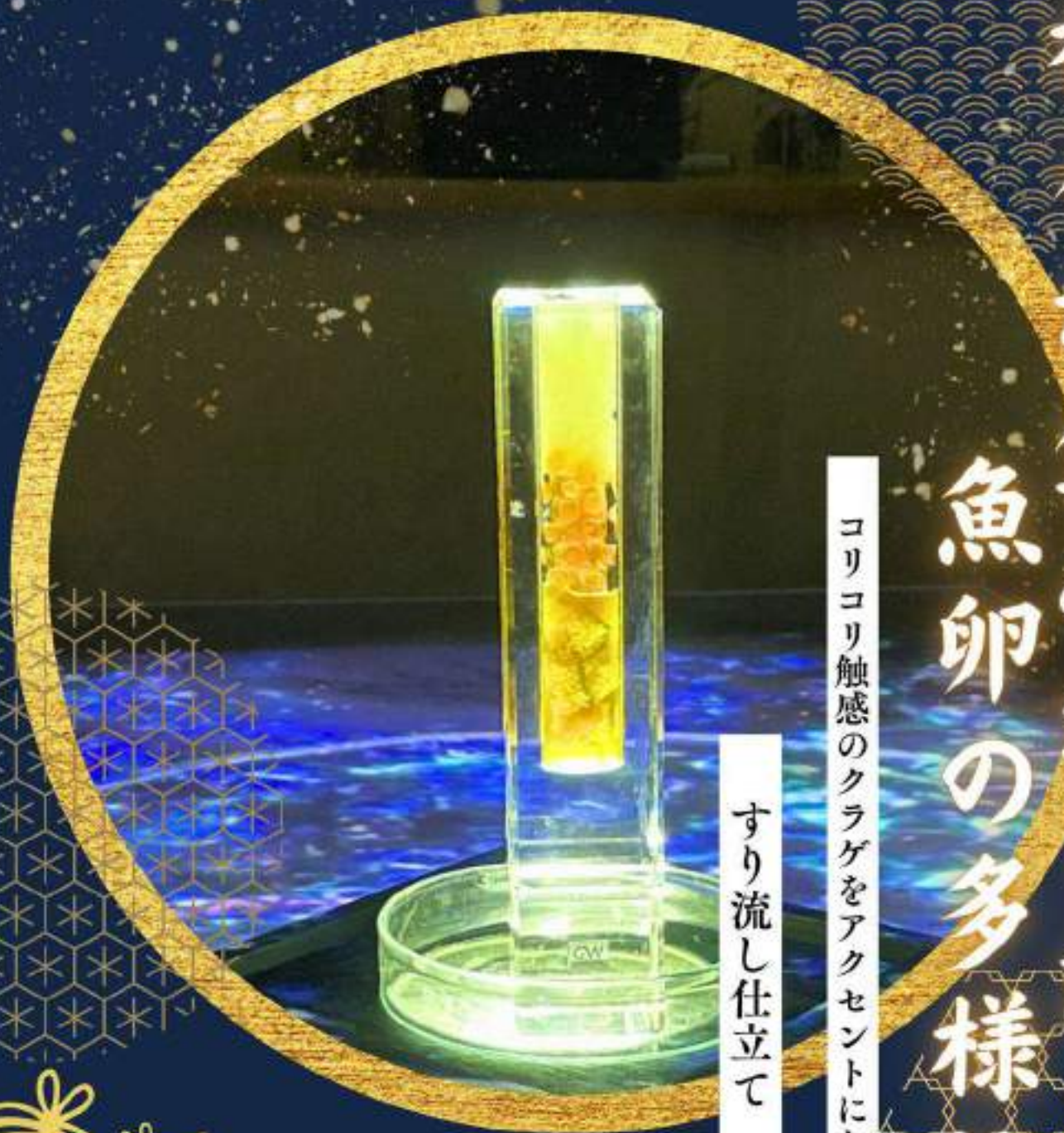


神々が生み出した

魚卵の多様性

コリコリ触感のクラゲをアクセントにした

すり流し仕立て



おはな

二人の神様は、

「打虫虫の小娘」を

筑ったとたん、社との光と共に

日の前に立つの銀河がまよった。

「まあ、行きまよさい。」

二人の神様は大団圓に手を握ると

「よしよしよ。」

こたわり

食材と物語のつながりを

大切にしました。

すべての始まりである

「卵」が、

物語の始まりと

飾ってくれます。

もろこぶやいくらなど、

季節に合わせた様々な

卵と、ガラスの透明な

器を是非

お楽しみください。

アイテム おみくじ

菊花最中

自家製 燻製をきかせた生ハムの白和え

トリュフの香りと共に



おはなし

頃を待たせている二人の神様の間と、
再び文才をいささか、お二人に、
言葉は、行も歩の小橋を平にする
美しい女性が見えた。悪い言葉は
言葉に、見い込まれ、女性が
打もまの味を振ると、あたり一面に
菊の花がより、二人の神様に
笑いやりの心が戻った。二人の神様は
女性を「百理様」と呼び、観しんだ。

こだわり

白和は、豆腐だけだと
濃厚さが足りない。

オ、コヤ

トリュフのベースとと、
燻製をし塩麹につけた
自家製の生ハムを
合わせて、奥深さを
演出しました。

アイテム 菊の花

太陽神 アマテラス大御神に献上する

やわらかく仕上げた

鮑の握りずし



おはなし

古くは世界の中心

ニヤン レンガ

小徳と振る鈴の音がした

ボツと瓦が突然壊れた

表の中心に、目を凝らしてよく覗いた

中には、目を固んで動かないで

踊っている人が見えた

その中の一人が、だんだんこちらに

ゆっくきと近づいてくる

可愛らしい牛の中に

その人はまた戻っていった

こたわり

太陽神である

アマテラス大御神を

祀っている伊勢神宮で

献上されている

鮑と、蒸した米に見立て

長時間煮込んだ鮑と

出雲のブランド米である

與出雲仁多米を

使用しています。

アイテム 勾玉

揚げたての

飛龍頭

大蛇に見立てた

青のりの餡をのせて

おはなし

ひらひら、水の底を舞う

「こは」川の中だ、った。

どきどき音が聞こえる。聞こえた方に

歩いてみると、そこにはなんと

打も鼓のふたを持つた老翁の

マツノオノロチの姿があった。

どうやらこれもマツノオノロチの

遠征に行くらしい。後ろをついていくと、

あーという間にオロチを風切ったこと

を知らず、マツノオノロチは気が付かぬ間に

消えてしまった。

こたわり

古事記にて、

「その身体には、

コケやヒノキや

杉が生えている」と

と書き記されている

ヤマクノオロチ特有の

苔が生えたような

鱗の表面と青のりの餡で

表現しました。

アイテム 水引

季節のお造り

乙姫様のおもてなし



おはな

「本城は、この日、

「この日よ、玉手箱の中を、

目を開けた。目の前には大それた

竜宮城。その周りを飛ぶ竜の雲があった

「この小箱は、何なんですか、おはな？」

「打ちまの小箱」で

「よく使えば世界をよりよくするものが

今の世にはまだないから渡せなさい」

をばりてきける。おはなは、

こたわり

市場で購入した

その日の一番いい魚を

使用しています。

魚は旬のものを

使用していますので、

その時によって違う魚を

お楽しみいただけます。

また、玉手箱を想起させる

黒い木箱の器にし

こ注目ください

アイテム 竜宮城の秘宝

貝殻や指輪など

神魚の奉書焼き

スサノオの放った矢から広がった炎で焼かれた



おはなし

あつぱい！

あたり一面の炎に囲まれている。

バナナ、チェウチェウ

手を洗はずと、後からスズメの声か

聞こえる。振り返ると、矢を口に

くわえた小さなスズメがいた。

「僕のこころをどうも受けました。

助けてあげよう。ほら、こい！」

スズメが小枝を握ると、一面の炎とともに

スズメも小枝も消えてしまった。

こだわり

島根の郷土料理の

奉書焼き。

平安時代の頃から、

スズメは縁起の良い

高級魚として

知られていました。

少し大胆な、炎の演出も

ご用意しております。

アイテム 破産矢



牛

頭天王の

類肉の甲州煮

修業時代の京都の思い出を添えて



おはなし

「この飯を食べてくれないわね」
大田五郎、才もないわいこの飯を侍って
いない、と物言ひをきかされたが、飯の事に
違和感がある、ことに気が付いた。

飯の事に手を入れたら、それには
とまらねえ、と聞いた。ちまたも老人は
遠慮、老人は金色の髪を抜つと共に
スサノオ、牛頭天王、青龍（しんりゅう）に
早とせ、と見せた。

「サ」の形の飯を見つけたよ、後、いかに
持つ大田五郎なら、この小櫃を正しく使ひ
まわらねえ、と物言ひをきかされた。
この小櫃とて、愛し取りなせ、と

こだわり

お粥も、麺のように
伸びる、ことごとく、存じ
ですか？

料亭下しか味わえない
出来立てのお粥と、
牛頭天皇（スサノオ）に
見立てた牛類肉を
お楽しみください。

アイテム 扇子

自家製の若草と 不味いお抹茶

若草のように緑、流れる江がのよう

曇るぞよ、雨降らぬうちに摘みてむ

梅尾山の春の若草

おはかり

時は江戸時代、松平不始が寺師治めていた
 島田の田代路で田舎者
 田舎者にお茶を淹れてくれた
 時のことである。いかにかわ
 くと、鈴の音が鳴った。町に戻ってみると
 今年は無作だ。と多くの農家が喜んでお
 不始はとこの鈴の音が鳴った日と境に
 田代路が収まり、島田は豊かになった
 事として、今でも島田は緑の地として
 榮と続いている。

こたわり

島根の銘菓 若草

シンプルだからこそ、

伝えた。

若草の、色に込められた

春の趣、新しい出会い

花の咲く直前のような

美しさ。

新しい、良い訪れが

ありますようにと

願いを込めて。

あなたの強い思いを固める

気持ちをよみがえらせる結晶

お守り づくり



髪飾り 水引

巫女が身に着ける髪飾りには「人と人を結び付ける」という願いを込めて水引があしらわれています。

髪飾り着る

巫女

神様の御言を人々に伝える情けしをする役目を持つ巫女。瑞享では、縁結びの神様を祀る「田宮大社」のイメージをコンセプトとしたおしほを大切にしています。その中で、お宮様に神社の雰囲気を楽しんでいただけるように、スタッフは巫女を基調としたモダン風な格で皆さんをお迎えします。



手毬・神楽鈴

手毬は、幸せを願う気持ちを込めるための縁起物です。神楽鈴には、気持ちを清め、人々の願いを神様のもとへ届ける役割があります。瑞享では、手毬と神楽鈴を組み合わせて皆様の幸せ、願いを神様のもとへ届けます。



扇子・しめ縄

扇子は、神聖な「結界」を意味します。瑞享では、宮外に大きくかかっている象徴的なしめ縄とともに、「神聖な空間」を作り出しています。

あなただけの

お守りの作り方



step1 水引

「あなた」と「あなたの願い」を結びつけてくれる水引を選びます。



step2 勾玉

あなたが落ち込んでしまったとき、引きの力へ憑いてくれる、勾玉を選びます。



step3 菊の花

すべての願いと、あなたとりこめがありますように、と願いを込めて「結びの菊」を選びます。



step4 おみくじ

伏魔の川童いがもたらすあなたとの繋がりの高い色を選びます。



step5 和柄の扇子

扇子に施されている和柄に込められた、様々な願いと願いの叶わぬを招き入れます。



step6 破魔矢の羽

あなたが進んだ破魔矢は、同じ平から身を守り、あなたに訪れたチャンスも「射」とめてくれます。



step7 竜宮城の秘宝

心願から選んだ平手箱の中からひとつだけ好きなものを「選んでください。あなたは、この日の悪い川をどれに同じ込めますか？



step8 手毬り

平巻のような身体には刺さるも刺さるもなく、無邪の繋がりが深まっています。何事も川童に訪れる方が来るように願いを込めて選びます。



あなた専用の
お守りの完成！！

店內





巫女

お飲み物



旬の時期に仕入れた新生姜を甘く炊いたものをベースとした「神社えーる」金やゴールドにちなんだ、「ゴールドデントマトジュース」や、「金の島産茶」島根のブランド米、奥出雲仁多米を贅沢に使用した「黄金汁酒」そのほか様々な、自家製の「開運ドリンク」をご用意しております。

松江地ビール ビアへるん

世界的なビールのコンクール「インターナショナル・ビア・コンペティション」にて、金賞・銀賞を受賞した、松江の国産地ビールです。「違う名前のビールは、必ず違う味がする」をビール造りのテーマとしており様々な味をお楽しみいただけます。



島根の地酒

出雲は「日本酒発祥の地」とも伝えられていることを
ご存じでしょうか。実際に、出雲市の佐香神社では
酒造りの神様「クヌノカミ」が祀られています。
また「出雲の神話」「八岐大蛇伝説」では、スサノオが
お酒を使って大蛇を倒したというお話は有名です。それ
余良時代前から、今までもずっと続いている
島根の日本酒を是非と体験ください。



島根の農園で収穫されたブドウから作られた
20種類のボトルワインを
ご用意しております。

中でも、小公子は、少量しか生産ができず
すぐに売れ切れてしまうほど希少なワインです。
当店でも、毎回ご用意ができるワインでは
ないので、お店にあるときに是非ご体験ください。

ワイン



焼酎

島根県名物 蕎麦を使用した蕎麦焼酎
日本屈指の米所 ブランド米「奥出雲仁多米」
を使用した米焼酎

和声ハーブ香る、「黒文字」を使用した

心を穏やかにしてくれる焼酎

その他、長時間熟成させた、ウイスキーを
連想させるスパーシーな焼酎など
多種多様な味をご用意しております。





鳴鏑(なりかぶら)とは、矢の先に箭のようなものが付いており、飛ばすと音のなる矢のことです。スサノオは、火をつけた鳴鏑を原っぱにはなち、大黒天にとりにいかせました。その時に助けてくれたのが、このネズミなのです。

鳴鏑とネズミ



スサノオ

太陽神アマテラスの弟神であるスサノオ。高天原を追放されて、出雲をさまよっていた時に、川で筥が流れていることを機転として、ヤマタノオロチを退治する栄光をなしとげた神です。少し荒れた性格をしている神ではありますが、「厄払い」や「成長・成熟」にご利益があると伝えられています。



因幡の白兔

因幡の白兔は出雲にまつわるお話だという事を知っていますか？仲間を噛みつかれ、海水で傷口を痛めていたウサギを助けたのは、出雲国の神様である大黒天だったのです。大黒天様は大勢いる兄弟のなかで一番やさしい、と言われていますが、その優しさがとてもよくわかるエピソードですね。



竜宮伝説

浦島太郎のお話の中で出てくる「竜宮城」は、皆さんも聞いたことがあるのではないのでしょうか。出雲大社は、打ち出の小槌と深い関係がありますが、実は「竜」と打ち出の小槌の間にも深い関係があります。竜は「竜」と打ち出の小槌の玉手箱の中身だったり、竜から渡される宝が打ち出の小槌だったり、様々なところで登場しています。



蘇民将来

スサノオ(牛頭天王)が嫁探しに竜宮城へ向かう旅をしていた時のこと。泊まれるところを求めて、裕福な人の家に「一泊泊めてください」と頼むと、断られてしまいます。もう一度、次は貧しい人の家に「一泊泊めてください」と頼むと、その人は貧しいながらも快く泊めてくれました。お礼に、スサノオは「厄除け」の茅の輪を授け、スサノオを泊めた家は疫病を避けることができたのだそうです。

物語に登場する 神々



高天原を問う地理している太陽神アマテラス。太陽は、万物を光に包み込むことから、「所願成就」「開運」にご利益があるとされています。有名な話の一つである「天岩戸神話」では、弟のスサノオの乱暴な振る舞いに耐えられなくなってしまったアマテラスは岩屋に閉じこもってしまいます。困った神々が鏡や玉でお祭りをし、みんなの歓声が気になったアマテラスは、岩屋から出てきてくれて、世界が再び明るくなった、というお話です。このお祭りに登場している玉とは「勾玉」のこと。端午では、お守りを作る材料にしています。

太陽神・アマテラス



イザナミ イザナギ

古事記の「国生み」の物語にて、高天原の神々に命じられ、日本列島を作った二神。また、様々な神様の生みの親でもあることから、「繁栄」や、「夫婦円満」のご利益があるとされています。



きくり姫

イザナミノミコトとイザナギノミコトの夫婦喧嘩を納めたことから、「縁結び」にご利益があるとされています。



打ち出の小槌

打ち出の小槌とは、振ることで願いが叶い、様々なものが出てくる小槌です。七福神である大黒天の持ち物であり、富をもたらす象徴とされています。有名な昔話だと、一寸法師のお話の中で、一寸法師が体を大きくしたり、金銀・ご飯を出している容姿が書かれています。また、大黒天は出雲大社の御神祭であることから、打ち出の小槌は出雲大社で縁起物として親しまれています。

運

島根といえば出雲大社、出雲大社といえば縁結び・『開運』ですよね。このページでは、開運、さらに深く言うと「運」とは何なのか、少し話そうと思います。

「開運」と聞くと、スピリチュアルな感じがしますよね。ですが、脳科学をはじめとした最近の研究で、「運」の正体が解明されてきました。そもそも、「運」は二種類存在します。一つ目は、「偶然的な運」。例えば、宝くじに当たった、くじ引きで一等を当てた、などです。二つ目は、「必然的な運」。すなわち、自分で勝ち取ることができる「運」です。日々努力と挑戦を積み重ねて、成功する確率を上げる、これこそが必然的な運です。しかし、多くの方は運について、偶然と必然を区別してとらえていません。そのため、努力と挑戦を惜しまず、成功体験の多い人は「必然的な運」が強くなるため、運がいい人と運が悪い人の差ができるのだと私は考えています。

では、必然的な運はどのようにしてあげればいいのでしょうか。それは、
一つ 目標に向かい、大量に行動すること。
二つ 気配りをし、身近に落ちている些細なチャンスをつかむこと。
三つ 新しいものに積極的にチャレンジすること。

です。

瑞亭では、お食事の進行とともに、お客様専用の「開運お守り」をオリジナルで作成していますが(詳しくは13ページかHPを見てみてくださいね)、このお守りは「偶然的な運」だけでなく、お客様がそれぞれの目標に向かってあきらめないための「必然的な運」の二つの開運を願って一つ一つ作成しています。お店でお守りを作っているときに確かにあった、「頑張ろう」という気持ちを、もしも落ち込んでしまったときに思い出せるように。お客様の開運のお供になれるように。料理と演出とお守りを作成しています。

余談ですが、別名「経営の神様」であり、パナソニックホールディングスを築き上げた松下幸之助氏は、面接でいつも「あなたは自分の運がいいと思いますか」と問うそうです。そこで「自分は運がいいです」と答えた人をいつも採用しているのだとか。お客様の『開運』を心よりお祈りしております。

料理人おすすめ!

島根の思い出の場所



松江城の遊覧船

松江城は観光地として有名ですけど、私はどちらかというとお城よりも、お城の周りの堀を船で遊覧するツアーが好きでした。狭いところを通るワクワク感がたまらないです!



日御碕灯台

出雲大社の近くにある日御碕。この灯台は珍しく灯台の中が螺旋階段になっていて、ぐるぐると上ることができるんです! 少し疲れますが(笑)特に灯台の上から見る日御碕の夕日は絶景ですよ



三瓶山

石見銀山の近くにある三瓶山。麓には池があって、ボートに乗れたり、馬に乗ることができたりします。海と山の両方を楽しめるのが、島根の良さの一つだなあと感じさせてくれるような山です



三瓶山の麓で馬に乗っている幼少期の私です